

焼酎学 の 最前線

日本酒学 &



日時 2017年
8月26日(土)
13:00～15:35(12:30開場)

会場 新潟大学附属図書館 ライブラリーホール

対象 一般市民・高校生・大学生・醸造関係者・農業関係者

[司会進行] 高橋 能彦 新潟大学農学部 FCセンター教授

[開会の挨拶] 高橋 姿 新潟大学 学長
品田 宏夫 刈羽村 村長

13:15～14:05 「焼酎の世界と鹿児島大学の焼酎学講座について」
鮫島 吉廣 鹿児島大学 客員教授

14:05～14:35 「清酒製造業の発展と酒米の発見、
酒米『越淡麗』の開発および現状と課題」
鍋倉 義仁 新潟県醸造試験場 専門研究員

休 憩 (10分)

14:45～15:00 「新潟大学『日本酒学』の発展に向けて」
鈴木 一史 新潟大学農学部 准教授
岸 保行 新潟大学経済学部 准教授

15:00～15:30 「世界で初めての『日本酒学』と新潟大学への期待」
大平 俊治 新潟県酒造組合 会長

[閉会の挨拶] 末吉 邦 新潟大学 農学部長

主催：新潟大学農学部
新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センター
URL <http://www.agr.niigata-u.ac.jp/~nkariwa/>
後援：刈羽村 新潟県 新潟県酒造組合 新潟大学農学部同窓会

お問い合わせ／刈羽村バイオドーム事務局フォーラム担当
TEL：0257-31-8871 (鈴木)





第22回 農学部フォーラム／
第 8 回 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム

【趣旨】 新潟大学、新潟県と新潟県酒造組合は、平成29年5月9日に連携協定を結び、日本酒の醸造技術や歴史、文化、ビジネス、健康への効用などについて総合的に学べる「日本酒学」の国際的な拠点形成に向けて歩みをはじめました。一方、鹿児島大学では平成18年「焼酎学講座」が設立され、同23年からは「鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター」として発酵の基礎から焼酎の製造、歴史、文化、経営実学まで幅広い教育と研究が行われています。今回は、日本酒学&焼酎学の最前線と題して産学官から講師を招きその動向を紹介していただきます。

【会場案内】
新潟大学附属中央図書館 ライブラリーホール
新潟市西区五十嵐2の町 8050
<http://www.lib.niigata-u.ac.jp/access/index.html>
※出来るだけ公共交通機関をご利用ください。



申込締切 **8月18日(金)**

参加をご希望の方は資料準備の都合上、8月18日までにE-mailまたはFAXでお申し込みください。なお、当日参加も可能です。

E-mail	件名を「フォーラム」とし、下記必要事項を明記のうえ、 eri28nnn@agr.niigata-u.ac.jp に送信してください。
FAX	下記に必要事項をご記入のうえ、このまま 0257-31-8872 へ送信してください。

第22回 農学部フォーラム／第8回 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム 参加申込書

ふりがな			
氏名			
勤務先*		所属・役職*	
連絡先	住所		
	TEL	FAX	
	E-mail		

※勤務先と所属・役職については該当がない場合、無記入でもかまいません。
※参加申込書にご記入いただきました個人情報は本フォーラムに関するご連絡のみ利用させていただきます。